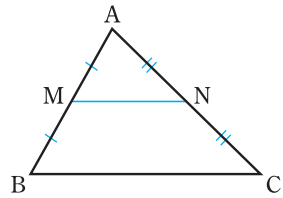




$\triangle ABC$  の2辺  $AB$ ,  $AC$  の中点を、それぞれ、 $M$ ,  $N$  とすると、線分  $MN$  と線分  $BC$  の間には、どんな関係があるでしょうか。



上の  $\triangle ABC$  で、 $AM : AB = AN : AC = 1 : 2$  だから、

$$MN \parallel BC, \quad MN : BC = 1 : 2$$

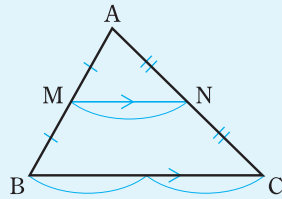
が成り立ち、次の定理が得られる。

### 中点連結定理

定理

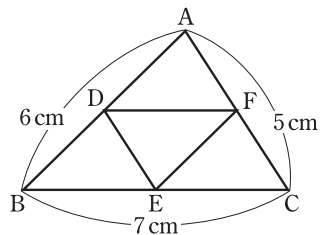
$\triangle ABC$  の2辺  $AB$ ,  $AC$  の中点を、それぞれ、 $M$ ,  $N$  とすると、

$$MN \parallel BC, \quad MN = \frac{1}{2}BC$$



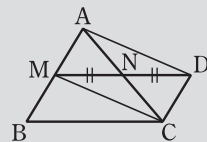
### 問18

右の図の  $\triangle ABC$  で、点  $D$ ,  $E$ ,  $F$  は、それぞれ、辺  $AB$ ,  $BC$ ,  $CA$  の中点です。 $\triangle DEF$  の周りの長さを求めなさい。



上の中点連結定理について、 $MN = ND$  となる点  $D$  を考え、四角形  $AMCD$  が平行四辺形になることを用いて、証明してみよう。

問題集 p.56

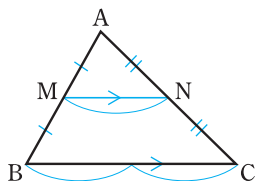


## 別の方法で証明してみよう

31 ページで学習した「中点連結定理」

$\triangle ABC$  の2辺  $AB$ ,  $AC$  の中点を、  
それぞれ、 $M$ ,  $N$  とすると、

$$MN \parallel BC, MN = \frac{1}{2}BC$$



について、平行四辺形の性質を使うと、次のように証明することができます。

### 証明 1

$MN$  の延長上に  $MN = ND$  となる点  $D$  をとると、

$MN = ND$ ,  $AN = NC$  より、

対角線がそれぞれの中点で交わるので、

四角形  $AMCD$  は平行四辺形である。

よって、 $AM \parallel DC$ ,  $AM = DC$

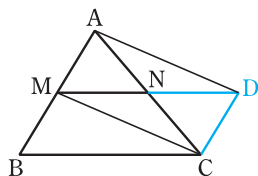
これより、 $MB \parallel DC$

また、 $AM = MB$  より、 $MB = DC$

したがって、四角形  $MBCD$  は平行四辺形である。

よって、 $MN \parallel BC$

$$\text{また、} MN = \frac{1}{2}MD = \frac{1}{2}BC$$



また、線分の比と面積の比の関係を用いて証明することもできます。

### 証明 2

$$AM = MB \text{ より、} \triangle AMN = \triangle MBN \quad \dots \textcircled{1}$$

$$AN = NC \text{ より、} \triangle AMN = \triangle MCN \quad \dots \textcircled{2}$$

①, ②より、

$$\triangle MBN = \triangle MCN \text{ であるから、} MN \parallel BC$$

また、 $\triangle ABN = 2 \times \triangle MBN$ ,  $\triangle ABN = \triangle BNC$  より、

$$\triangle MBN : \triangle BNC = 1 : 2$$

よって、 $MN : BC = 1 : 2$